

建設産業情報（最近の動向）
（2013年5月1日～31日）

在外公館名 在サウジアラビア日本大使館

記入日 2013年6月2日

1. 現地の建設工事に係る経済情報
2. 建設業制度、入札契約制度の改正動向

--

3. 報道情報

	タイトル、概要	日付/掲載紙	添付
1	鉄道インフラを大幅に強化するために、サウジアラビアは 2040 年までに推定 3,650 億リヤル超の投資を行うと見られる。これには、ジッダからリヤドを經由してダンマン・ジュベイルと東西の港を結ぶ計画（266 億リヤル）や、北部・中央を結ぶ計画（200 億リヤル）、ハラマイン鉄道、地下鉄などが含まれる。（ア紙）	5 日 アラブニュース紙	なし
2	サウジ政府は、Jazan と Farasan 島の世界最長の橋（全長約 40km）を架けることを検討しており、この計画はムハンマド・ビン＝ナセル Jazan 知事（殿下）によって承認された。	4 日 アラブニュース紙	なし
3	リヤド開発高等委員会（HCRD）は、モノレールプロジェクトに関する入札内容の最終審査を行っている。この計画は市街地と空港など 176km を結ぶ予定で、3 つの国際企業連合からすでに技術提案が出されている。	8 日 アラブニュース紙	なし
4	ダンマン・ジュベイル間 115km、ジュベイル工業都市内ネットワーク 220km、北部の Waad al-Shamal、Turaif、Arrar への支線 200km などを含む鉄道計画のコンサルティングについて、サウジ鉄道会社が入札を行い、審議中である。	15 日 M E E D 紙 （電子版）	なし
5	旺盛なプロジェクト需要により建設業界は好況に沸いているが、人材不足が課題になっている。約 10%のサウジ人比率を達成するのが困難であり、外国人労働者についてはお役所的なビザ手続きが障害となっている。	15 日 M E E D 紙 （電子版）	なし

6	ヤンブー海水淡水化工場からのマディーナへの供給水量は、2週以内に70,000m ³ /日に引き上げられる予定であり、ボイラーのうちの1つは既に運転を開始した。さらに、マディーナ地区の井戸からの給水量を、ラマダン月の前に30,000m ³ /日まで引き上げる予定である。	16日 サウジガゼ ッタ紙	なし
7	国内の大都市に関する上下水道整備に向けて、国営水公社（NWC）は、2015年までに民間企業とのJVを設立する計画をしている。新会社には、O&M、下水処理水（TSE）サービス、TSEによる地域冷房サービスなどを担当させる予定。	17日 サウジガゼ ッタ紙	なし
8	サウジ国営水公社（NWC）の民営化部門責任者の Abdulrahman Almutari は、NWC は上下水道に関するプロジェクトに対して2017年までに500億リヤル以上を投資する予定だと述べた。	21日 アラブニュー ース誌	なし
9	サウジアラビアとバーレーンを結ぶ鉄道計画（GCC 鉄道の一部）について、フィージビリティ・スタディの入札が実施される予定である。距離90km、総費用は50億ドルと見積もられている。コンサルティング会社4社が入札準備をしており、およそ3週間後が提出締切で、年内に調査を完了させる予定である。	22日 M E E D 紙 (電子版)	なし

4. その他我が国建設業界にとって参考となりうる最近の動向（報道情報以外）

--